

2012年度せんだいメディアテークでの企画「文化財レスキュー展in仙台」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-05-18 キーワード (Ja): キーワード (En): Tohoku Gakuin University 作成者: 東北学院大学文化財レスキュー班 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/310



OSHIKA

牡鹿半島の くらしを 未来に 伝えよう



東北学院大学 **文化財レスキュー展** In 仙台

2012年 **11**月**6**日(火)～**8**日(木) 3日間とも **9時30分～21時**まで

会場：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア 〒980-0821 仙台市青葉区春田町 2-1

TEL 022-713-3171

入場無料

仙台駅からのアクセス 地下鉄 仙台駅から泉中央行きで3分、勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分(約450メートル)。
バス 仙台市営バス 仙台駅前-29番(庄内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き(系統番号J410)で約10分、メディアテーク前下車。

お問い合わせ 東北学院大学博物館 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 TEL 022-264-6920 URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>

R E S C U E



OSHIKA

東北学院大学

文化財レスキュー展 In 仙台

牡鹿半島のくらしを未来に伝えよう

1 文化財レスキュー活動の紹介

東北学院大学博物館は、2011年6月から国が組織した被災文化財等救援委員会のもとで、文化財レスキュー活動を行ってきました。大学博物館には、石巻市鮎川収蔵庫から救出された民俗資料や考古資料、地学資料など、牡鹿半島の歴史と文化を物語る多様な資料が保管されています。本展覧会では、これらの資料をすべて展示し、クリーニング作業などに携わった学生たちが、活動を紹介します。



被災当時の文化財収蔵庫



収蔵庫から搬出された資料



ブラシや刷毛で泥をおとす



学生によるクリーニング作業

2 資料の情報を収集する活動

今夏8月12～14日には、資料の被災場所である石巻市牡鹿公民館で展示を行いました。多くの方にご来場いただき、展示した資料40点に関する情報、思い出を収集することができました。今回新たな資料200点を展示します。



現場で展示し聞き取りを行う学生達



展示資料

- ・民俗資料 衣食住や農業・漁業の道具類
- ・考古・歴史資料 震災前の発掘調査や歴史研究で得られた資料等

資料が現地から救出され、クリーニングを経て保管されるまでを、解説パネルと映像で紹介します。

同時開催

写真パネル展

「救え! 故郷の証(あかし)

—つなぐれ! MIYAGI—」

宮城県被災文化財等保全連絡会が作成した、各地の救援活動を紹介するパネル展を、会場内に併設します。

